

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社フジプロデュース
所在地	東京都北区上中里一丁目 37 番 15-1203
業種	(L) 学術研究、専門・技術サービス業
常用労働者数	5 名
事業内容	1. 治療院の開業に関する指導、助言、コンサルティング業務 2. 治療院の経営に関するセミナーの開催 3. あんま、マッサージ、指圧、はり、きゅうの施術所の経営 4. 健康器具、介護用品、衛生用品等の販売 5. 介護関連サービス事業 6. インターネットを利用した各種情報提供サービス 7. インターネットを利用した通信販売業
ホームページ	http://www.fuji-produce.com/
1 ニーズ調査	
①実施日	令和 6 年 10 月 3 日
②方法	調査票を都内（社内）に勤務する全従業員に対し社内ツール（チャットワーク）で送付
③回収率	対象者（都内勤務全従業員） 5 名のうち回収数 5 名 回収率 100%（回収数／対象者）
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 社員の中に、実際に介護を行っている者、また、現状介護は行っていないが、将来的に介護対象者となる親族等がいることがわかった。 ・今後の従業員の介護見込みについて 従業員の年代から、祖父母や両親の介護が必要となる見込みがある。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 現状、もし介護が必要となった場合に利用出来る支援制度があるかどうか、また、会社に相談できる窓口があるのか認知されていない。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 自身ではどうすることもできない、いつまで続くか想像のできない介護という局面に向き合うことになった場合、実際に支援制度があるのか認知が無く、誰にどの様に相談し、仕事を辞めずに介護と仕事を両立される仕組みがあることがわからず不安に思う社員が過半数以上いる。当社に介護休業等を取得した前例がないことも、会社に相談した場合どうなるのかが見えないことも不安要素と考えられる。また、現在介護を行っている社員、さらに、将来介護する可能性がある社員については、現在の職場で仕事を続けられるかどうかかわからないと不安に感じているようだ。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 介護は、社員自身が一人ですと対応しなければならないというものではないと考えられる。公的、また、民間の介護に関するサービスの利用、また、それ以外に、社内でキャリアを積んだ社員の能力が活かせるような会社としての支援制度の創設と今ある支援制度の啓蒙活動の実施が必要。 <社内制度> ① 介護休暇の日数（法律上対象者が一人の場合 5 日、二人の場合 10 日） ② 時間単位の有給休暇の取得 ③ 時短勤務 ④ 時差出勤
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況	
①設置日	令和 6 年 9 月 27 日
②メンバー	総計 3 名（うち都内勤務の従業員 2 名） （メンバー内訳）社長、本部事務 2 名

	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
③ 運 営 状 況	9 月 27 日	17：00～18：00	活動内容及びスケジュールの確認	3 名
	10 月 7 日	17：00～18：00	調査結果概要説明、取組案の提示	3 名
	10 月 11 日	17：00～18：00	取組案についての意見交換、確定	3 名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和6年12月～	定期的な個人面談を実施（年2回）			
令和7年 4月～	年度替わりに介護と仕事の両立に関する研修の実施（年1回）			
スタッフ入職時	相談窓口、介護と仕事の両立で活用できる就業規則等の該当部分（都度）の説明			
※今回の社内研修時に今ある「介護と仕事の両立で活用できる就業規則等」の説明を実施				